

企業現場見学会 2025 実施企業を募集します

産学交流委員会 人材交流小委員会

はじめに

産学交流委員会 人材交流小委員会では学生会員と法人会員をつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しています。本稿では2025年の実施企業を募集します。

『企業現場見学会』の対象と特徴

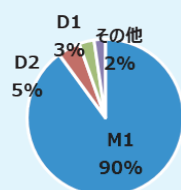
化学産業は日本を支える重要な産業です。実際、2022年の化学産業の付加価値額18兆円および研究費2.8兆円は輸送用機械器具に次いで2位の位置にあります。

このような化学産業の現場である工場や研究所を見学し、さらにそこで働く企業の方と交流する機会を持てることは、化学分野の研究者、技術者を志す学生にとって、進学や就職を考える上での重要な判断材料となることは間違いありません。一方、企業にとっても、自社の特徴や魅力、研究活動の様子を学生に直接、単なるイメージではなくリアルに五感で印象づけることができることは非常に有意義に違いありません。そこで、学生と企業の双方をつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しております。本企画の実施により、企業と学生との交流はもちろんのこと、参加した学生会員同士の交流の促進につながることを期待します。

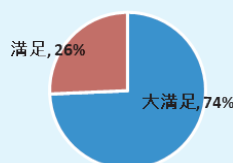
参加学生の内訳やコメント

昨年度は、9月から11月にかけて、7カ所で開催され、約130名の学生が参加しました。参加したのはM1の学生が中心であり、すべての学生から「大満足・満足」の評価をいただきました。また、参加者アンケートでは次のような意見があ

◇参加者学年内訳



◇満足度



◇参加者の所属一覧（順不同）

〔国公立〕東大、東工大（東京科学大）、農工大、筑波大、京大、信大、神戸大、阪大、名大、三重大、愛媛大、北大、阪公大、お茶大、島根大、岩手大、兵庫県立大、名工大、九大、徳島大、鹿児島大、奈良先端大、山形大
〔私立〕東京理科大、立命館大、早大、同志社大、阪工大、中大、芝浦工大、上智大、関西学院大、岡山理科大、秋草学園短大、慶應大、青学大

りました。「実際の製造工程を見ることができた点がとても印象に残った。熱気や騒音などを体感できたことがとても有意義であると感じた」、「製品や取り組みに触れながら会社の雰囲気を肌で感じることで有意義であった」、「座談会にて実際に働いている研究院の人と直接研究や生活のことについて聞けた」。

開催報告の詳細は下記のウェブサイト参照下さい。

URL: <https://www.chemistry.or.jp/activity/industry-university/past.html#gmb>

募集要項

開催時期：8～11月のうち希望日をご指定下さい（指定期間外を希望される場合はご相談下さい）。

募集対象企業：本会法人会員であり、見学受入れ協力が可能な企業。

実施内容：学生会員を対象とした半日程度の工場や研究所の見学会の実施。

※見学会の内容および最小・最大催行人数は各社で自由に設定いただけます

（見学に限らず研究所長による講演や若手社員との座談会・意見交換会など）。

※参加する学生会員は現地集合、現地解散を原則とします。

※当日の運営や開催報告記事用の写真撮影などは各社でお願いします（本会職員は当日現地には赴きません）。

※実施終了後簡単なアンケートにご協力をお願いします。

対象者：本会学生会員（応募多数の場合は抽選）。定員に余裕がある場合は本会学生会員以外も参加可とします。

申込方法：本会ウェブサイトより。

申込1次締切：4月18日（金）

事務手続き手数料：110,000円（税込み）

事務手続き手数料に含まれるもの：

- 周知・広報
 - ・会員宛メール配信
 - ・開催情報掲載（ウェブサイト、会誌）
- 参加登録管理
 - ・参加者受付サイトの作成、管理
 - ・参加者名簿の作成
 - ・参加者への案内
- 報告
 - ・開催報告記事掲載（ウェブサイト、会誌）
 - ・参加学生向けアンケートの実施、取りまとめ

おわりに

会員各社様からの現場見学の提案をお待ちしております。また本企画へのご要望も受けたまわります。

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

〔産学交流委員会 人材交流小委員会
委員長 高村岳樹（神奈川工科大）〕

© 2025 The Chemical Society of Japan